

2 バーナー交換方法

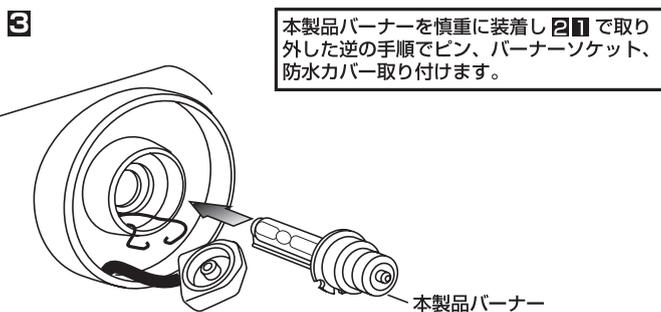
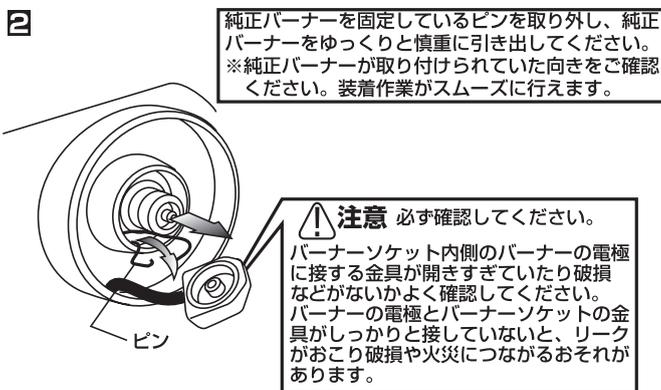
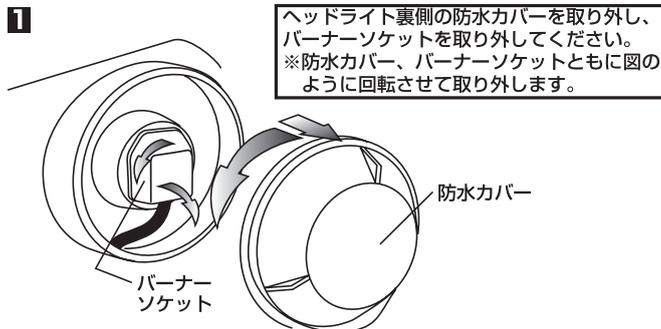
※ イラストや手順など一例を説明しただけです。車両によっては形状や手順が異なる場合があります。予めご了承ください。

警告

- 本製品は高電圧を発生させる安定器(バラスト)との正しい接続を必要とします。正しく接続されていない状態での点灯はたいへん危険です。バルブ交換は専門知識のあるプロショップや整備士にお任せください。

注意

- 車両によっては工具を必要とする場合があります。適切な工具で作業してください。
- 車両によってはヘッドライトユニットを取り外さないと作業ができません場合があります。



4 点灯確認を行い、光軸が適切であるかご確認ください。

注意

- 灯具へのバーナー脱着作業の際は、バーナーと灯具との接触によるキズやバーナー(ガラス管)に触れることのないように十分に注意して作業してください。
- バーナーソケットは確実に固定されているか必ず確認してください。
- バーナーが灯具に対して斜めに取り付けられたり、ぐらついたりする場合は正しく取り付けられていません。

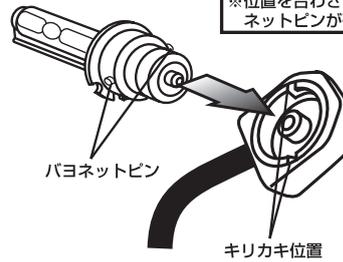
上記による原因でリークがおり破損や火災につながるおそれがあります。必ずよくご確認ください。

3 バーナー装着時の注意

※ イラストや手順など一例を説明しただけです。車両によっては形状や手順が異なる場合があります。予めご了承ください。

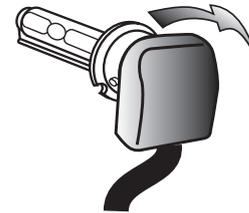
注意点 1

パヨネットピンとソケット側のキリカキ位置を合わせてから奥まで差し込んでください。
※位置を合わさず差し込んだ場合、パヨネットピンが破損します。



注意点 2

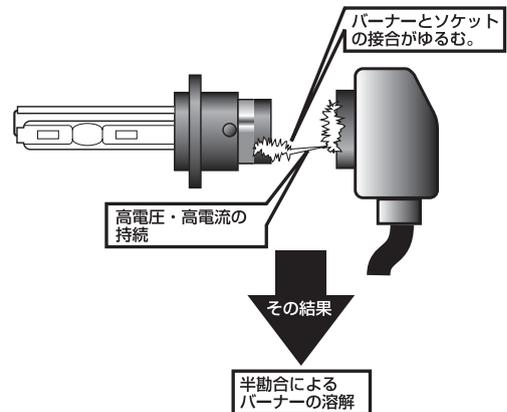
ソケットを差し込んだ後、必ずロック方向に回転させて固定してください。
※ソケットに差し込んだだけでは走行中の振動で接合がゆるみます。



注意点 1

以上の注意点を従って作業が行われなかった場合、以下のような問題が発生するおそれがあります。

注意点 2



警告

- 上記の作業内容が徹底されない場合は装着後に正常に点灯していても、走中時の振動などによってバーナーとソケットの接合がゆるみ半働合(端子の接続部分が不十分)のおそれがあります。半働合でご使用いただきますと、H.I.Dシステム点灯始動時の高電圧・高電流が持続されバーナー及びソケットの溶解につながります。最悪の場合は車両火災ひきおこすおそれがありますので、十分にご注意ください。

4 故障かな……?と思う前にお読みください。

- 点灯直後の色が赤っぽくなる。
→ 放電は発光管に封入されている金属が蒸発し、その光が混ざりあい発光します。それぞれの金属は点灯直後より時間差を持って発光するため安定するまでに色が赤っぽく見える場合がありますが故障ではありません。正常な点灯状態です、安心してご使用ください。
- 点灯中、リフレクター内に黄色っぽい色が混ざっている。
→ 発光管に封入されている金属がヘッドランプ内のリフレクターに反射し、見る角度や車両によって黄色っぽい色が見える場合がありますが故障ではありません。正常な点灯状態です、安心してご使用ください。